

域事情も考慮して行うべきと考えるが。

答調査が地域課題に対応できるものとなるよう入札方法も含め検討する。

投票率の向上について

問選挙における投票率の向上や住民票を置いて市外にいる人への対応は。

答商業施設で期日前投票を実施した。住民票を置いて市外にいる人は対象者に案内し、住所移転も促している。

国民健康保険事業会計

問特定健康診査における初回受診者自己負担無料化によりどれくらいの受診者増を見込んでいるのか。

答65%を目標に取り組み。

問メタバ対策は。

答判定率が予備軍を含め平成27年度で20.7%。特定健診指導の受診率は96%。

問保険料の算定について他市では資産割をや

めたところもある。算定方法を見直し、負担軽減すべきでは。

答平成30年度からの県単位化がすすめられている。他市の状況をみながら適正な賦課に努めたい。

水道事業会計

問購入する給水車の利活用は。

答給水車は災害時や突発事故等の対応、また、災害応援協定などで応援要請があった場合に手動する。



予算決算特別委員会の様子

議員問討議

一般会計予算の質疑の後、議員問討議を行いました。

・9月決算審査で指摘した不用額の大きさを平成29年度一年かけて政策の方向性や積算根拠を見直し平成30年度に向けて取り組んでほしい。

・議会提言でもあった公共施設の老朽化対策等に基金の統廃合を行い著大事業に備えて積み立てを開始するなど大きなポイントであった。

・少子高齢化、人口減少社会において今後のまちづくりを合致しているのか大局的に審査する必要がある。人口減少に対応するためには観光施策だけでは太刀打ちできない地域課題もあり、これからの社会を考えて提言や調査活動などの議会活動に取り組まなければならないと改めて感じた。

北小学校灯油流出事故復旧工事などに約7億円を増額する平成28年度高山市一般会計補正予算（議第28号）を審査しました。

問北小学校における灯油流出事故復旧工事の内容は。

答土壌の掘削、地下タンク及びポンプ庫の撤去。配管内の灯油処分や汚染土壌の処分と舗装復旧である。

問地下タンクの設置状況

況と今後の対応は。

答地下タンクの設置は18校、その内、北小より古い施設は4校。地下タンクメーターの点検を増やしたり、1回あたりの給油量を少なくしている。今後は安全な対応を検討する。

問工事期間はいつまでか。

答夏休みが終わるころまでに終えたい。料の積算根拠は。

答指定管理者と締結している協定において想定利用人数を設定しているため、それと雪不足で全面滑走できなかった日数で算出し、2分の1を負担する。

問個人番号カード業務負担金の支払い先はどのような業務を行っているのか。

答マイナンバー法に基づき、通知カードや個人番号カードの作成、管理、個人認証に係る業務を委託している。

問これまで支払った負担金は。

答今回の補正も含め、2年間で約3,900万円である。

問国の補助は。

答全額国費である。

問防犯カメラを設置する老人福祉施設の数。

答17施設の予定である。

◆議第28号

平成28年度高山市一般会計補正予算（第8号）

補正額 700,902千円

- 戸籍住民基本台帳事務費 14,000千円
個人番号カード交付事業に伴う負担金の増額
- 障がい者施設整備費助成事業 158,000千円
障がい者支援施設等の整備に対する助成
- 観光施設運営事業費 21,000千円
雪不足に伴う市営スキー場指定管理料
- 小学校管理費 83,000千円
北小学校の灯油流出事故に伴う復旧工事
- 老人福祉施設整備費助成事業費 7,260千円
老人福祉施設の防犯対策強化に対する助成